

1

岐阜県の森林・環境を取り巻く状況を踏まえ、『清流の国ぎふ森林・環境税』を活用した取組みを推進

●直面した危機～H24年 税導入の背景

岐阜県は、県土面積の81%が森林(全国2位)で形成される「木の国、山の国」であり、大小400以上の河川が8つの流域を織りなす「川の国、水の国」です。古くから、こうした岐阜県の豊かな森林・清らかな川は、私たちの暮らしに大きな役割を果たし、また多くの恵みを与えてきました。

しかしながら、平成24年以前は、適切に管理されず荒廃した森林や、野生鳥獣による農作物被害の増加、外来生物の繁殖、水環境の悪化などが大きな問題となっていました。

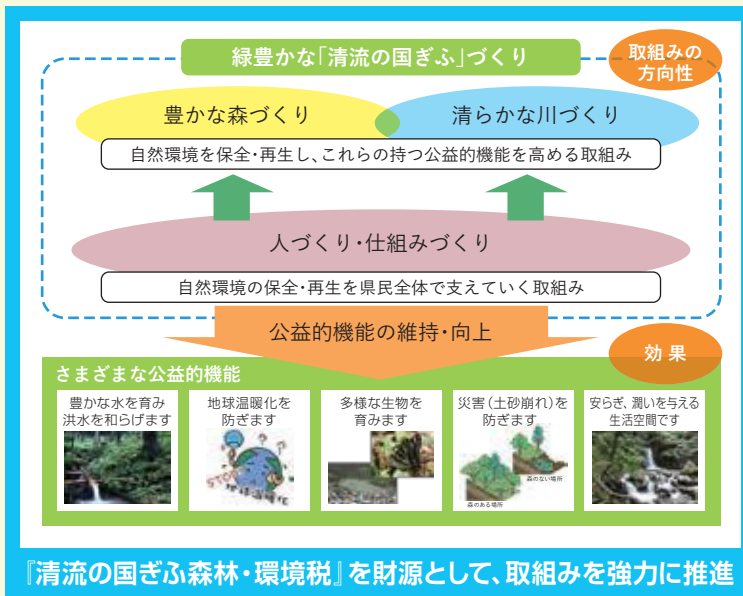
そして、これらの問題を放置した場合、私たちの安全・安心な生活環境が失われるとともに、地球温暖化や生物多様性の損失など、地球規模の環境にも悪影響が懸念される危機的な状況に直面していました。

●危機への対応～

自然環境の保全・再生の取組み強化

喫緊の課題である地球環境の保全にも応えながら、本県のアイデンティティである「清流」を守り育て、緑豊かな「清流の国ぎふ」づくりを県民協働で推進しなければならないとの気運が高まりました。

本県の恵まれた自然環境を保全・再生し、森林や河川の持つ公益的機能をより高める取組みを早急、かつ、確実に進めて、森林や河川は県民の共有財産であるという認識のもと、これらの持つ公益的機能を県民が将来にわたり享受できるよう、平成24年度に『清流の国ぎふ森林・環境税』を導入し、平成29年度から令和3年度までの5年間は第2期として、自然環境の保全・再生を県民全体で支えていく取組みを進めてきました。



2

平成29～令和3年度(第2期)の『清流の国ぎふ森林・環境税』を活用した取組み



奥山林等の間伐の推進



目標:13,000ha
実績:8,607ha(66%達成)
※整備により、林内に光が入りやすくなるなど、森林環境の改善が図られています。



里山林の整備(危険木の除去)



目標:200箇所
実績:427箇所(214%達成)
※倒木の恐れのある危険木の除去を行い、生活環境の保全を図りました。



野生鳥獣対策(ニホンジカの捕獲)

目標:37,500頭
実績:28,852頭(77%達成)
※年間15,000頭の捕獲が必要とされる中、狩猟等の手法も含め、シカの個体数調整に貢献しています。



県民参加による河川清掃

目標:73河川
実績:73河川(100%達成)
※上下流域が連携して河川清掃活動に取り組むことにより、県民の河川環境保全意識の向上を図りました。



林内の未利用材搬出支援

目標:20,600t
実績:20,154t(98%達成)
※搬出した未利用材が、ボイラーの燃料として利用されるなど、エネルギーの地域内循環にも貢献しました。



NPO等の環境保全活動への支援

目標:200件
実績:275件(138%達成)
※県内のNPO等が自ら企画・立案・実行する創意工夫を凝らした森づくり・川づくりの活動が進みました。